

第37号

宇 障 連

福田富一栃木県知事揮毫

- ・発行責任者・
会長 麦倉仁巳
- ・編集・問合わせ先・
宇都宮市障害者福祉会連合会
☎320-0806
宇都宮市中央1-1-15
市総合福祉センター3F
- ・宇障連事務局・
TEL 637-7771
FAX 639-0663
- ・手話通訳専用・
TEL・FAX 636-1219
- ・印刷所・
藤崎印刷株式会社

交通系ICカード「totra(トトラ)」の導入で、
バスの利用が便利になりました！



totra券面デザイン

令和3年3月21日、交通系ICカード「totra」のサービスが開始されました。「totra」はJR東日本「Suica」として使えて、地域独自のサービスを受けることができる全国初の地域連携ICカードです。

地域独自のサービスとしては、関東バスやジェイアールバス関東で使用すると運賃の2%分のポイントが付与されるサービスに加え、

高齢者の外出支援として、70歳以上の市民に年1万円分のポイントを付与するサービスを受けられます。

障がい者(身体・知的)の方には、専用の「totra」があります。これまでは、障がい者の方は、バスの運賃支払いの際に、乗務員に身体障がい者手帳または療育手帳を提示いただいていたのですが、専用の「totra」であれば自動で割引運賃を精算しますので、提示いただく必要はございません。

バスでICカードを利用する際は、乗車時に乗車口のカードリーダーにタッチし、降車時に運賃箱の上にあるカードリーダーにタッチするだけで運賃支払いが可能となります。

障がい者用「totra」は障がい者手帳を持参のうえ、関東自動車の窓口でお買い求めください。

上限運賃制度がスタートしました

さらに、6月30日から、バス1回乗車あたりの運賃に上限を設けるお得なサービス、上限運賃制度もスタートしました。

次の3つを満たすと、片道運賃の上限が400円となります。なお、小学生、身体・知的障がい者の方は上限200円となります。

▼時間帯 毎日(平日、土・日曜日、祝休日含む)、午前9時〜午後4時。なお、降車の時間で判別します(時刻表の到着時間が時間帯の範囲内であれば、遅延しても適用されます)。

▼区間 市内での乗り降り(市域を越えた場合は通常運賃になります)。

▼対象 交通系ICカード(「totra」や「Suica」など)利用者。

上限運賃制度のQ&A

Q. 現金の利用では適用にならないの？

A. 適用になりません。バスに乗る度に交通ポイントが付いて、上限運賃制度も適用されるお得な「totra」をぜひご利用ください。

Q. 通常運賃が400円以下の場合はどうなるの？

A. これまで通り、通常運賃となります。

Q. 高齢者外出支援事業のポイントでも適用になるの？

A. 適用になります。高齢者外出支援事業について、詳しくは、高齢福祉課(632-2367)へお

問い合わせください。

「totra」1枚で、鉄道、バスなどの支払いが可能となり、タッチするだけなので感染症対策にも役立つなど市民の利便性を大きく向上させることが期待されます。

皆様の暮らしの中で「totra」をぜひ活用してください。

totraの利用方法

<p>3</p> <p>運転手横のカードリーダーにICカードをタッチし、前の扉から降りる。</p>	<p>2</p> <p>降りる停留所の放送があったらボタンを押す。</p>	<p>1</p> <p>後ろの扉から乗り、入口のカードリーダーにICカードをタッチする。</p>
---	---------------------------------------	--

交通系ICカード(※で支払う場合)

※交通系ICカードは、「totra」の他、「Suica」や「PASMO」なども利用できます。

詳しくはコチラ

「totra」特設ホームページ
<https://www.ic-totra.jp>



宇都宮市からのお知らせ

「第6期宇都宮市障がい福祉サービス計画・第2期宇都宮市障がい児福祉サービス計画」を策定しました

宇都宮市では、親なき後や医療的ケア児の増加などの課題に適切に対応できるよう、障がい児者の暮らしを支援する障がい福祉サービス等の安定的な提供体制の確保を図るため、令和3年3月に「第6期宇都宮市障がい福祉サービス計画」・「第2期宇都宮市障がい児福祉サービス計画」（計画期間：令和3～5年度の3年間）を策定しました。

【策定の目的】

計画では、障がい者団体との意見交換やアンケート調査による市民ニーズや本市の状況等を踏まえながら、地域生活への移行や親なき後への対応を図るための地域生活支援体制の機能の充実や医療的ケア児等を含む特別な支援を必要とする障がい児等のための支援の充実などに取り組むことにより、障がいのある方やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会の実現を目指すこととしています。

計 画 の 特 徴

1 地域生活への移行や親なき後を見据えた地域生活支援体制の機能の充実

「相談支援や緊急時の受入体制の充実」、「本人や親への障がい福祉サービス等の理解促進・本人の自立に向けた支援の充実」、「グループホーム（GH）の設置促進」を図るなど、障がい者が地域で安心して暮らせるよう、地域生活を支援する体制の充実に取り組みます。

<主な指標>

■ GHの定員数を令和5年度末までに150名増員

<主な施策・事業>

■ GH・短期入所施設への体験的宿泊支援事業の実施【新規】

■ 相談支援体制の強化、緊急時相談の実施【拡充】

■ GHの設置促進

2 就労支援の充実

重度障がい者の通勤時の介助など、就労時における支援を実施するため、「雇用施策との連携による重度障がい者等就労支援特別事業」を実施するなど障がい者の就労支援の充実に取り組みます。

<主な指標>

■ 令和元年度の一般就労への移行実績（71人）に対する一般就労への移行者数：1.27倍（91人）以上

<主な施策・事業>

■ 雇用施策との連携による重度障がい者等就労支援特別事業の実施【新規】

3 医療的ケア児等を含む特別な支援を必要とする障がい児等のための支援の充実

「支援に関するコーディネート機能の充実強化」や「協議の場の充実」など特別な支援を必要とする障がい児等のための支援の充実に取り組みます。

<主な指標>

■ 医療的ケア児等支援に関する協議の場の充実及びコーディネート機能の充実強化

<主な施策・事業>

■ 医療的ケア児等のより適切な支援に向けたコーディネート機能の充実強化【拡充】

■ 医療的ケア児等の通所支援事業所の受入促進

そのほか、障がい福祉サービスや地域生活支援事業等の必要な量の見込みなどを設定しています。

（すべて令和3年度⇒令和5年度）

<主なサービス>

居宅介護、同行援護等 利用量（時間／月）27,236⇒29,672、利用人数（人分／月）1,046⇒1,168

共同生活援助（GH） 利用人数（人分／月）613⇒713

手話通訳・要約筆記者派遣事業 利用人数（人／月）150⇒164

今後とも、関係者の皆様と連携しながら、ライフステージに応じた切れ目のない一貫した支援を受けることができる体制づくりに取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

新型コロナウイルスワクチンについてのお知らせ

<新型コロナウイルスワクチン接種の対象を拡大しました>

市では、これまで65歳以上の人を対象に接種を進めてきましたが、対象について、基礎疾患を有する人及び60～64歳の人に拡大しました。障がい者手帳をお持ちの人及び60～64歳の人につきましては、市から接種券が自動的に発送されます。6月29日から順次発送していますので、ご確認をお願いします。

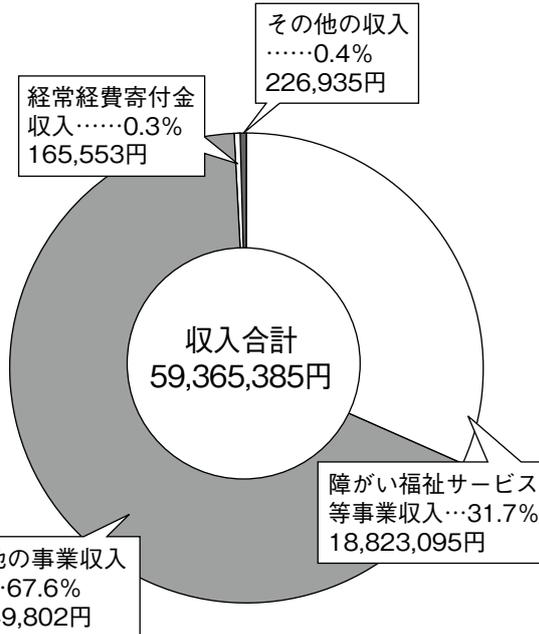
【新型コロナウイルスワクチンの接種についての最新情報はこちらからご確認ください】

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/kenko/kansensho/etc/1026339.html>

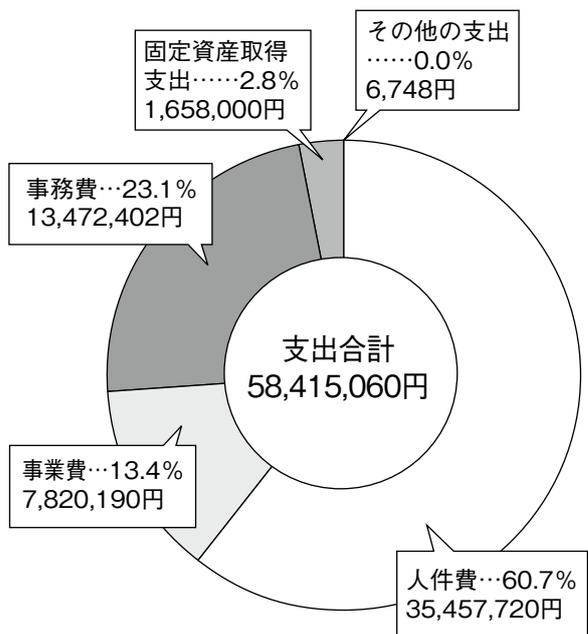


令和2年度 決算報告

収入内訳



支出内訳



令和3年度 宇都宮市障害者福祉会連合会役員

役職	氏名	部会
会長	麦倉 仁巳	肢体
理事	中村 富頼	肢体
〃	山崎 富子	父母
〃	半田 江美	聴覚
〃	竹内 清	河内
〃	田中 雄二	視覚
〃	山下 文人	発声
〃	小杉美津江	学識
常務理事	南木 孝昭	事務局
監事	相原 節子	父母
〃	今泉 弘美	外部
〃	中山 悦夫	外部
評議員	佐藤 紀夫	肢体
〃	原田アイ子	肢体

役職	氏名	部会
評議員	小口 巖	肢体
〃	曾根 鐵也	河内
〃	田邊 静子	河内
〃	小野 和良	視覚
〃	岩井 恵	視覚
〃	関矢 誠	視覚
〃	稲川 和彦	聴覚
〃	齋藤 幹治	聴覚
〃	石井 正子	聴覚
〃	小林 啓子	父母
〃	市瀬 俊子	父母
〃	小森 和江	父母
〃	高橋 勝巳	発声

役職	氏名	現役職等
評議員	藤原 由房	宇都宮市自治会連合会会長
〃	檜山 和子	宇都宮市民生委員児童委員協議会会長
〃	松本カネ子	宇都宮市ボランティア協会会長
〃	平手 義章	宇都宮市社会福祉協議会事務局長

特別職

役職	氏名	現役職等
相談役	緒方 秀徳	宇都宮市保健福祉部長
顧問	大島 誠司	宇都宮市社会福祉事務所長

苦情解決第三者委員

久保 哲夫	元宇障連事務局長
-------	----------



わく・わく・マルシェinオリオン

6月19日(土)、オリオン通り商店街振興組合主催の「わく・わく・マルシェinオリオン」が、開催されました。

今回で7回目となるこの企画は商店街の賑わいの創出や障害者の活動の場を提供する機会として定着しています。

この日は天気予報のとおり朝から雨模様で肌寒く、販売に来た施設の皆さんも身を縮めていました。

オリオンスクエアでイベントがあったものの、例年に比べ人出は少なかつたようです。それでも、通行する方たちに自分たちの製品のアピールや売り込みを生き生きと行っていました。

宇障連からのお知らせ

◆令和2年度の寄付者

・宇障連を支援する会 横尾光夫様
 ・藤崎印刷 藤崎則之様
 ・大塚俊男様
 ありがとうございます。

宇障連構成団体紹介

宇障連は6つの団体により構成されています。今回はその中から2つの団体を紹介します。

●宇都宮市肢体障害者福祉会

私達の会は宇肢会、通称「うしかい」と呼ばれています。動物の牛になぞらえて、どっしりと着実に、しっかりと地に足を着けて、ゆっくりと歩んで行けばよいとの意味もあるようです。障害者手帳交付を受けている方が会員となって活動しています。

発足以来六十年以上の歴史があり、活動としては、新年顔合わせ会（一泊も含む）や交流親睦会、以前にはキャンプ、グラウンド・ゴルフなど、最近では卓球の練習、レディースクラブの研修旅行なども開催しています。現代の風潮である少子高齢化現象によって、会員も高齢化が進み、ま

た減少によって、各種行事の開催も難しい状況になりつつあります。この記事を読まれた方で、肢体障害者手帳所持者のお知り合いが居られたら是非、紹介して頂きたくお願いいたします。そして、同じ障害者を持つ仲間造りを通して、交流を深め、お互いを思いやり、助け合いながら、明るく、楽しく、活動の出来る会になるように努めてまいりたいと思いますので、これからもご支援をよろしくお願いします。



●宇都宮市肢体不自由児者父母の会

「肢体不自由児者父母の会」は身体に障がいのある子とその親の会で

す。会員は親子で約100名です。昨年、今年と新型コロナウイルス感染症のため、ほとんどの行事が中止になってしまいました。例年ですと泉の会との交流会、療育訓練、お楽しみ会、そして市や県主催のスポーツ大会、宇障連主催のボウリング大会への参加など、楽しい行事がいっぱいで、子供たちの笑顔がほじけます。

そして、子供たちが将来にわたり生き生きとした生活を送れるよう、一人でも多くの方に障がい児者への理解を持ってもらいたいと思って、福祉わかめの販売、研修会、施設見学なども行っています。父母の会はいつでも新入会員大歓迎です。



新職員紹介

この4月より、事務局に2名の新しい職員を迎えました。

◆南木孝昭事務局長



中山事務局長の後任で新しく事務局長になりました。よろしくお願いたします。

◆大根田瞳さん



わく・わくショップUを担当します。市役所へお越しの際は是非、お立ち寄りください。

コロナ禍の生活、まだまだマスクとは縁が切れそうにありませんが、皆さまもどうかお気をつけてお過ごしください。事務局はこれまで同様に力を合わせてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

本会報はボランティアの皆さんの協力で点字版、音声版も発行しています。

点訳 グループ

音訳 「かたつむり」の皆さん
 デイジー全文訳センター

「アクセス」の皆さん
 ご協力ありがとうございました。